

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【PTA編】

(※担当 PTA本部・学年委員会)

Q1 PTA活動にはどのような活動がありますか？また活動頻度はどれくらいですか？

学年委員会や文化委員会、国際交流委員会などの委員会活動が行われています。委員会の開催は1、2カ月に1回程度です。PTA自身がマイペースに楽しく参加できることや、委員会に所属していなくても、委員会主催のイベントへの参加等、各々ができる範囲で活動できます。詳しくは[PTAホームページ](#)で御覧いただけます。

Q2 保護者が学校行事を参観できる機会がありますか？

あります。ここ2年は感染症対策で、オンデマンド配信等になる場合もありましたが、例年、授業公開や体育祭(5月)、桜陽祭(文化祭、9月)等、保護者が参観できる機会があります。

Q3 保護者や学校とのコミュニケーション手段は何を利用していますか？

学校からの連絡は、生徒への配布物、学校ホームページ、学校指定のツール等を通じて行われます。学校から個別に連絡が必要な場合や、保護者からの欠席連絡等は、主に電話により行っています。また、保護者間のコミュニケーション手段の一つとして、自由に参加できる学年・クラスグループLINEがあります。PTA活動やオンラインクラス親睦会の案内等に活用されています。

Q4 外国人の保護者でもPTAに参加できますか？

全ての保護者がPTAに参加することができます。実際に多くの方が参加しています。日本語が話せないとコミュニケーションをとる上で難しいこともある、という見もありますが、困った場合には、他の方が英語等でサポートできます。海外生活経験者が多いこともあり、「外国人」として不安な気持ちを理解し、助け合うことができます。外国人保護者としての視点で活動に参加していただくことで、活躍していただける場面も多いと思います。

Q5 子供の部活動を通じて保護者の交流はありますか？

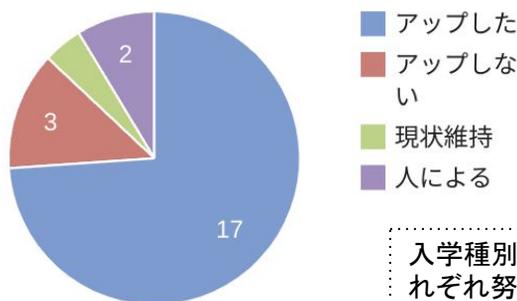
部活動によります。大会参加等で保護者の手伝いがとても重要な部活動もあります。コロナ禍の現在は直接集まる機会はないですが、部活動の行事連絡などでLINEで連絡を取り合ったり、情報共有したりする部活動は多いです。

Q6 親が外国語が苦手でも大丈夫でしょうか？

大丈夫です。日本の公立学校なので、基本的に使用言語は日本語です。もし外国語が必要な場面があったとしても子供や他の保護者が助けてくれるので、困ることはありません。日本語が上手な外国人の保護者の方も沢山います。

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【英語編】

Q7 入学後は子供の英語のレベルがアップしましたか？

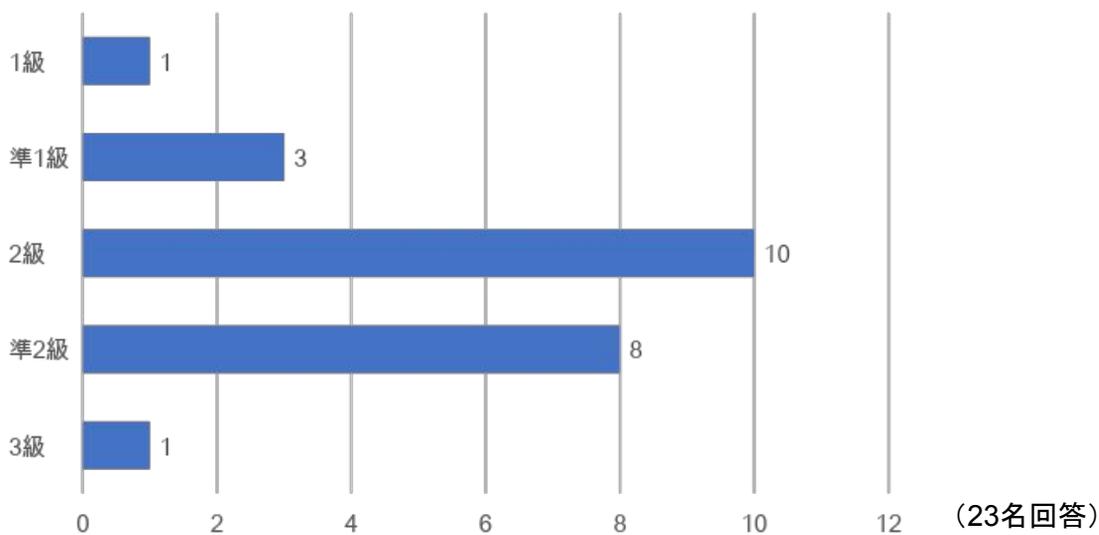


入学種別にもよりますが、多くは国際高校の英語授業を受けて、それぞれ努力した結果、英語力は上がっています。中には、海外帰国生で現状維持の場合や、入学してから英語が嫌いになり不得意になったという生徒もいるようです。

Q8 英語の授業についていくことができますか？

授業が難しいかどうかは人それぞれ感じ方が違います。1年生では習熟度別で1～5グループに分かれて展開授業が行われるので、レベルに合ったクラスで学ぶこととなります。中学校よりも分量や進度を含めて高度になることは確かなので、毎日の努力は不可欠です。入学当初は周りのレベルの高さに不安や焦りを感じることもあるようですが、モチベーションを維持して努力することで、自身の英語力向上が実感できるようになります。

Q9 入学時の英検レベルはどれくらいでしたか



Q10 帰国生について、入学後は英語レベルを維持できましたか？また維持するためにどのようなことをしましたか？

多くの生徒は英語力を維持できており、さらには伸ばすことができているようです。維持するためには、ネイティブの先生の授業(1グループ)や膨大な課題に取り組んだり、外部英語力試験や定期考査などにしっかり取り組んでいます。一方で、授業だけで文法力はついたがスピーキング力などが下がった、という人もいます。

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【学校生活編】

Q11 入学後の子供の変化や成長を感じますか？

保護者の方々は、次のような変化や成長を感じているようです。

- ・自分の考えや意見をしっかりとつよくなった
- ・より社会的になった
- ・自分の意見の伝え方やタイミングを知り、周りの意見にまず耳を傾けることを学んだ
- ・視野が広がった、世界が広がった
- ・個人の意見を尊重するようになった
- ・自分で行動しないと前に進めないと気付いた
- ・挑戦する気持ちが芽生えた
- ・現実を受け入れ、できることで楽しむ前向きさがより強くなった
- ・友人と良い関係を築いたようでいつも楽しそうに学校に行く
- ・部活動や行事に積極的に参加し、意見を言えるようになった
- ・生きていく力がついた
- ・他の国のことや国際情勢、国際問題に興味を示すようになった
- ・色々なことに興味をもって活動できるようになった
- ・人種やLGBTなどの国際的な社会問題に対してきちんとした意見をもつようになった
- ・課題発表の場を通して、ノートのまとめ方が上手になった
- ・おしゃれに気を遣うようになった
- ・自信過剰になった

Q12 引っ込み事案タイプでも大丈夫ですか？

大丈夫だと思います。色々なタイプの生徒がいるのはどこの学校でも同じです。特に国際高校では、例年、入学当初は周囲の高いテンションや様々なギャップ、積極的にはっきりものを言う生徒などに驚いたり気後れしてしまう人もいますが、色々なバックグラウンドや価値観の生徒がいて、それぞれを認め合える環境や、個性を尊重する雰囲気があるので、それぞれ自分に居心地のよい場所や人間関係を作って、それなりに楽しく過ごしているようです。

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【学校生活編】

Q13 校則が緩やかであることについて、保護者として気になることはありますか？

ほとんどの保護者が気になることはないようです。「元々海外の学校が自由な校風だったから」「校則が緩やかであることを承知で入学させているから」といった理由があります。それだけでなく、校則がほとんどないことで、節度を守ることや自由に伴う責任や自覚、自分らしさを大切にすることを学んだり、自ら考えて行動できたりする、といったプラスの効果があることを評価しています。気になることがあれば、家庭内でしっかり話し合い、一人の人間として個人の責任で決めて行うことを尊重し柔軟に対応しているようです。

Q14 帰国生について、日本の学校の環境になじめていますか？日本の勉強の遅れなど大変ですか？

人によりかかる時間は異なりますが、学校の環境に馴染めるようになります。国際高校は多様性や他者を尊重する校風なので、他の学校よりも馴染みやすいと言われます。古文や数学など、苦勞する科目もあるようですが、習熟度別のクラスなどで、何とか乗り切っています。入学前から塾に通った生徒もいるようです。

Q15 毎日お弁当を持参するのですか？

はい、毎日お弁当を持たせます。特に現在はコロナ禍でパン販売が中止になっているので、お弁当か登校前にコンビニ等で購入するか、のどちらかになります。登校後は下校するまで校外にでることができないので昼食は持ってくる必要があります。

Q16 この学校を選んでよかったこと・悪かったことはありますか？

○よかったこと

- ・毎日楽しそう、好きなことを思い切りできてよい
- ・生徒が生き生きとしている、先生方も気さくで明るく学校に解放感がある
- ・色々なバックグラウンドをもつ人と知り合えた、友達になることができ沢山の気付きがあった、個性を尊重し合える、価値観や世界観、視野が広がった、考え方が柔軟になった
- ・色々なことに積極的になった、自分で考えて行動することの大きさを学んだ
- ・親の固定観念がなくなり、自由に考えられるようになった
- ・国際高校ならではの選択科目がよかった、国際理解の授業で外部講師の話聞き、人権や環境問題等を考え視野を広げることができた
- ・積極的に色々な活動に挑戦する生徒から刺激を受けることができた
- ・学校で自分の居場所を見つけ、自信をもって日々生活している
- ・グループ学習の意見交換を通して、色々な考えを学ぶ機会が増えた
- ・視野が狭くならない、目指すところが学力の受験だけにならない
- ・コロナ禍でも自分たちが今できることを見つけて、そこに向かって全力で頑張っている姿、頑張っている友達を応援する姿

○悪かったこと

- ・課題が多い、文章力とパソコン能力がないと大変、提出課題で受験勉強が出来ないことがよくある
- ・理系進学希望者はカリキュラム内容的に大変
- ・先生により習熟度や指導の質にばらつきがある
- ・他の進学校より受験のターゲットが絞られていて、それ以外の大学を希望する場合は塾や予備校に頼るしかない
- ・私立と異なり社会の変化への対応に時間がかかる
- ・周囲の生徒の英語力が高く自身の英語力に自信をなくす、英語のテストが難しすぎる

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【学校生活編】

Q17 行事等に熱心になるだけでなく学業にも熱心に取り組めますか？

人や授業にもよりますが、総じて課題・宿題が多いので、それに取り組む必要がありますし、周囲が比較的真面目に勉強しているのでレベルが高く、必然的に熱心に(必死に)取り組むようになっているようです。行事の時は行事に集中し、普段はきちんと勉強する生徒が多いようです。良きライバルや勉強を教えてもらう友達がいたりするなど、環境的にもやる気を出させてくれるので、熱心に取り組んでいるようです。

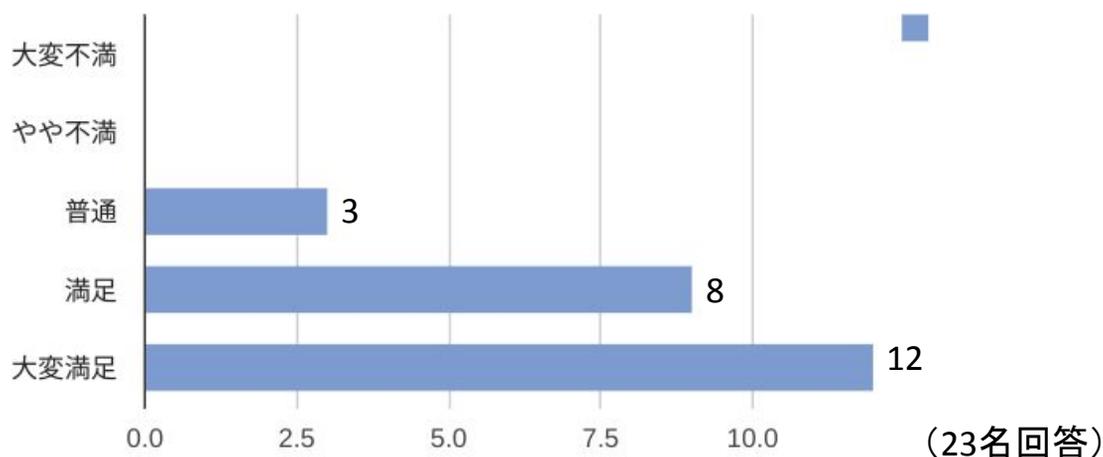
Q18 習い事との両立は可能ですか？

入る部活動や習い事の負荷は本人によって異なり、実際に様々な活動を複数こなしている生徒もいますが、学校の課題が多いため、自己管理・時間管理ができれば可能な場合もあります。

Q19 女子が多いですが、男子は馴染めていますか？

馴染めています。多様性を受容する校風から男女で区別するというよりは「人」として接する意識があるようです。また、女子率が高いため、却って男子同士の絆が強くなる傾向があります。

Q20 国際高校の満足度は？ 入学させてみて率直な感想は？



○よかった、大変満足だという理由

- ・コミュニケーション能力が向上し、意見をもつようになり、親任せなところが減った
- ・今後社会に出た時にも役立つであろうことを教えてもらった
- ・とても楽しい学校生活を送っている
- ・良い意味で性格が変わり、積極性も出てきた
- ・親子共々、今までと違う世界に入り、視野が広がり、楽しい
- ・勉強も行事もやる時はやる、という真っ直ぐな子供たちが多い
- ・学問だけでなく学びを多く経験できた
- ・他の高校では味わえない時間をもてる、他の学校にはない素晴らしさが多々ある
- ・自由な校風で個性的な学校行事を楽しんでいる姿を見られる
- ・想像以上に楽しく、いじめもない、個を尊重しあえる環境である

○その他

- ・授業の質にばらつきがあるのが少し不安である
- ・学校の体質が意外と保守的であると感じる
- ・勉強面では、塾に通って補う必要があると思う
- ・高校時代に作れる友人が少なくなるので、もう少し男子が多い学校の方がよかった
- ・(満足度は)まだ分からない

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【高校受験編】

Q21 受験時の親はどのように子供をサポートしたか？

栄養バランスのとれた美味しい食事や間食の準備、睡眠時間の確保など、体調管理に関わるサポートが第一でした。生活面でも、手伝いを免除したり、生活リズムを保つための親子で早寝早起きを心がけたご家庭もあります。その他、塾の送迎や学校訪問への同行、合格想定点数の算出や過去問題・面接体験記の収集、学力レベルについての助言、英文エッセイ添削講師探し、受験校見学と受験校選びのサポートなどを行った保護者もいます。そして、子供に寄り添い話を聞いたり、見守る、何も言わずに任せる、日々のことをよく話し合うなど、精神面でのサポートをするご家庭もありました。

Q22 国際高校の受験を決めた理由は？

きっかけは、中学1年生から3年生までの間に、学校説明会や個別相談会、桜陽祭で来校したことが多いようです。学校や生徒の雰囲気や校風が気に入った、というのが主な理由です。その他、英語が好きでもっと英語力を伸ばしたい、という気持ちがあったことや、他の都立高校と違う雰囲気に惹かれたこと、留学や海外大学に興味があったことなどの理由もあります。さらに、数少ない公立の海外帰国生徒受入れ校であることや、IBが学べる学校だったことなどが決め手となったという人もいます。少ないルールの下で、多様なバックグラウンドをもつ友人たちと学校生活を送りたい、ということもあったようです。

Q23 併願を考えた高校は？

- ・ 青山学院高等部
- ・ 関東国際高校
- ・ 関東国際高校 英語科
- ・ 慶應義塾湘南藤沢高等部
- ・ 国際基督教大学高等学校
- ・ 渋谷教育学園幕張高校
- ・ 淑徳巣鴨高等学校(プレミアムコース)
- ・ 淑徳高等学校
- ・ 純心女子学園
- ・ 順天高等学校
- ・ 青稜高等学校
- ・ 拓殖大学第一高校
- ・ 中央大学高校

- ・ 中央大学杉並高等学校
- ・ 東京工業大学附属科学技術高等学校
- ・ 東京農業第一高等学校
- ・ 東洋高等学校(特進選抜)
- ・ 法政第二高等学校
- ・ 広尾学園小石川高校 インターナショナルコース
- ・ 明治学院東村山高等学校
- ・ 明治学院高等学校
- ・ 明治大学付属明治高等学校
- ・ 茗溪学園中学校高等学校
- ・ 早稲田実業学校高等部
- ・ 早稲田大学本庄高等学院

他、多数

Q24 受験ラストスパートで子供にかけた声は？

- ・ やりきればいいよ！
- ・ 私立でも大丈夫だよ。
- ・ 大丈夫。自信もって。
- ・ ちゃんと寝る。ちゃんと食べる。
- ・ 今まできちんとやってきたから大丈夫。
- ・ 風邪ひかないように。しっかり寝ること。
- ・ 面接頑張る。
- ・ (推薦入試だったため)とにかく自分らしくいること。
- ・ 自分を信じる
- ・ ○○が受からなくて誰が受かるの？
- ・ ご飯何食べたい？(今までどおり普通に)
- ・ 自分の力を出し切れればいい、あとは縁だから。
- ・ 自分の夢に向かってファイト！
- ・ 最後まで粘り強く！
- ・ 落ちてもいい。
- ・ 今持つ力のベストを尽くすように。
- ・ 君なら大丈夫。
- ・ 自分で考えて自分なりの意見をもつように。しっかり寝るように。

この他、ひたすら寄り添い、特に言葉をかけない、というご家庭もありました。

学校説明会にお越しいただいた方の質問に 現役生の保護者がお答えします！ 【進学編】

Q25 高校3年生では、帰宅後どのくらい勉強していますか？

あまりしていない、30分、2時間程度、という人から、放課後は塾の自習室に通っている、1学期は4～8時間、夏休みは8～10時間、定期考査1週間前は6～8時間、塾で5、6時間など、時期や志望先、入試種類等により千差万別のようなようです。

Q26 海外留学を目指すお子様を親としてどのようにサポートしていますか？

子供自身に調査や準備を行わせることで、留学の自覚や動機、目的を明確にさせる、という保護者もいますし、一緒に情報収集したり話を聞いてあげたりする保護者もいます。子供が行きたい学校に留学できるよう収入を増やす、という方や、奨学金関係の情報収集と事務手続きのサポートをする、という方もいます。それぞれのご家庭で、様々なサポートを行っているようです。